

■市民の皆様からいただいた「市長への手紙」に対する、回答の内容をまとめました。

- 対象となった市長への手紙 : 6件 (ただし、匿名等で回答していない市長への手紙は除く。)
 うち回答済みの件数 : 6件
 うち回答作成中の件数 : 0件
 ○対象とならなかった市長への手紙 : 22件 (匿名、回答不要、市政に直接関係のない内容のもの。)

■回答したもの (受付年月平成30年8月分)

※回答済みのものうち、1件は個人情報に関する趣旨となっており、下記に内容を掲載しておりませんので御了承下さい。

対応状況凡例：○=手紙の内容に応じて対応済
 △=手紙の内容を検討中
 ×=手紙の内容に対応できない

NO.	種別	件名	要旨	対応		所管課
				内容	状況	
1	メール	リニア・トンネル湧水の大井川還元 の件	<p>一昨日、大井川利水関係協議会が結成されたニュースを見ました。</p> <p>染谷市長の談話として「トンネル湧水を全量大井川に戻す」ことを要求していると伺います。私は専門家ではないので科学的根拠は言えないが、常識的に考え「トンネル湧水を全量大井川に戻す」ことは危険があると考えます。問題は大深度トンネルからの湧水の水質です。大井川を流れる清流と同じ水質であるとは考えられません。日本列島どこでも1000m掘れば温泉が出ます。大深度の岩石は強アルカリ性です。当然トンネル湧水はアルカリ性で温度も高い。重金属が含まれる可能性も否定できません。そういう湧水を大量に大井川に戻せば大井川水系は壊滅します。大深度トンネル工事は過去に経験がありません。実際にトンネルを掘ってみなければどんな水質の湧水が出るかわからない。「トンネル湧水を全量大井川に戻す」ことには大きなリスクがあることを市長には強く認識して頂きたい。よろしくお願い致します。</p>	<p>御承知いただいているとおり、私は、大井川の水は全て大井川に戻すと訴え続けています。これは、農業用水、工業用水として、そして、私たちの生活に欠くことのできない命の水として、1滴たりとも無駄にはできないとの思いからです。</p> <p>平成30年8月2日には、利水団体11者、大井川流域8市2町(島田市、焼津市、掛川市、藤枝市、袋井市、御前崎市、菊川市、牧之原市、吉田町、川根本町)、静岡県による「大井川利水関係協議会」を設立しました。この協議会は、中央新幹線建設における大井川水系の水資源の確保及び水質の保全等について、関係者が一致団結し、「オール静岡」の態勢でJR東海と協議するために設立したものです。</p> <p>御指摘いただいたトンネル湧水の水質についてであります。</p> <p>JR東海が検討・調査した環境影響評価の報告書などでは、工事中に発生するトンネル湧水の取扱いについて、処理能力を備えた設備を設置し、水温への配慮を含め法令に基づく排水基準を踏まえ、適正に処理した後大井川に戻すといった対応を確認することができます。</p> <p>しかし、工事完了後におけるトンネル湧水の水質管理に関しては、具体的な記載が見受けられないことから、今後、協議会の活動を通じて明確にしていくとともに、監視体制の強化について提案するなど、水</p>	○	戦略推進課 36-7120

				<p>質保全に関する強い意思を示していきます。</p> <p>水資源の確保だけでなく、水質の保全も我々にとって大切なテーマです。我々の命の水である大井川の水を守るため、これからも関係団体や市町、静岡県と協力して活動していきますので、御支援、御協力をお願いいたします。</p>		
2	手紙	防災訓練の回数と時期について	<p>数年前より年に1回だった防災訓練が、他の地域で食中毒が出たことから、年に2回になりましたが、内容がタンカの組み立て、三角巾のたたみ方など、一回行えば出来ることがほとんどで意味がありません。</p> <p>また、近年9月1日あたりは、まだ暑く、体調不良を起こすことがこの先考えられます。</p> <p>なので、12月の訓練一回で十分だと考えられます。県の防災課と検討していただきたいです。</p>	<p>市が毎年実施している防災訓練は、過去の関東大震災や東南海地震等から得られた教訓を活かすとともに、世代間につないでいく狙いがあります。</p> <p>そのため、市民の防災意識の向上等を図るための国民運動や県民運動の一環として、一年の間に「防災の日」(9月1日)や「地域防災の日」(12月の第一日曜日)を定める一方で、市の防災訓練の実施日については、一年の中でも市民の皆様の防災意識が高まる状況の中で、より多くの市民の皆様に御参加いただける時期に設定しております。各自主防災組織の訓練につきましては、市の訓練を考慮しつつも、実施回数、内容、日程はそれぞれの事情に合わせて決めていております。</p> <p>〇〇様のお住まいの地区の自主防災組織である「〇〇自主防災会」におきましても、市の防災訓練に合わせ、御案内のとおり担架組立訓練や三角巾を使用した救護訓練等を毎年繰り返し実施されております。</p> <p>市としましては、同様の内容の訓練であったとしても、繰り返し実施する大切さや重要性を十分認識されていると理解しております。</p> <p>また、近年の天候につきましては、命にも関わる異常気象が続いております。訓練に参加される際には、〇〇様御自身の体調には十分御留意いただくとともに、体調管理の上で、無理のない範囲での御参加をお願いいたします。</p> <p>なお、市におきましては、本年12月を目途に具体的な訓練方法を紹介した「訓練方法のマニュアル」を作成し、各自主防災組織に配付予定であることを申し添えます。</p>	×	危機管理課 36-7143
3	メール	長寿介護課の対応に対する要望と改	<p>配食サービスについて、島田市長寿介護課に相談へ行きました。</p> <p>その際、担当、上司3名立ち合いのもと、状況を</p>	<p>高齢者等配食サービス事業に対する御要望につきまして、長寿介護課の対応の不手際により、長期にわたり回答を差し上げず、また大変不快な思いをさせ</p>	○	長寿介護課 34-3293

		善の必要性	<p>説明しました。その際、調べて、また連絡しますということで、当方の携帯番号も教えました。</p> <p>時は流れ、2か月半。ずっと待ちましたが、課から連絡がまったくありません。</p> <p>しびれを切らし、こちらから担当者に連絡したところ、担当者からは調査を全くしていなかったこと、上司には口頭で報告したという話を聴き、愕然としました。</p> <p>住民からの相談に対して、ずさんな扱いをされて非常にづらい思いをしました。</p> <p>私は、島田市の福祉支援の向上に貢献していきたいと切に思っています。</p> <p>それは、島田市という生まれ育った住み慣れた地域が好きだからです。</p> <p>このことは、苦情と受け取ってほしくはありません。一緒に考えていきたいというスタンスです。</p> <p>島田市の行政窓口の対応が少しでもよくなることを望んでいます。</p>	<p>てしまいましたことを、心よりお詫び申し上げます。</p> <p>担当課には、今後こうしたことが二度と起こらないよう、報告・連絡・相談体制の徹底を改めて指示したところであります。誠に申し訳ありませんでした。</p> <p>さて、御相談いただいた案件につきましては、高齢者等配食サービス事業実施要綱に基づき、高齢者御自身が店舗へ買い物に行くことができることから事業の対象者に当てはまらないと判断し、サービスの利用をお断りさせていただいたものと思われま</p> <p>しかしながら、高齢者の中には、複雑な生活課題を多数抱えているケースもあり、そうした方々の状況については詳しくお話を伺い、関係者で適切な支援策を検討していく必要があります。</p> <p>特に、一人暮らしの高齢者が、安心して健やかに暮らしていくためには、安否確認などの見守り体制や適切な食生活の確保は不可欠で、地域での支え合いや様々なサービスの活用が必要になることも考えられます。</p>		
4	メール	出産祝い金	<p>昔は、三人目を出産すると、お祝い金があったようですが、再開はしないのでしょうか？</p> <p>お祝いが出れば、三人目に挑戦してもいいと考える夫婦も増えるのではないのでしょうか？</p> <p>県内の他の市町村では、2人目からお祝いがあるところもあるみたいですし、検討いただけないでしょうか？</p>	<p>お問合せいただいた出産祝い金については、平成15年度から平成22年度まで子育てを行う家庭の生活安定と経済的負担の軽減、少子化対策等を目的に、第3子以降のお子様を出産し養育する方及びその配偶者に対し支給しておりました。</p> <p>実績としては、支援金を支給した件数は、各年ほぼ横ばいで、少子化対策等の効果があまり見られませんでした。</p> <p>また、当時実施した子育て支援に対するアンケート調査から「多くの子育て世帯へ支援が行き渡るような事業を要望する」という御意見に配慮し、「出産祝い金」の支給は平成22年度末で終了し、様々な事業で子育て世帯への支援を拡充しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●こども医療費助成の拡大 <ul style="list-style-type: none"> 平成22年10月から、こども医療費の対象年齢を「小学生まで」から「中学生まで」に拡大し、未就学児に限られていた入院費の助成を「小中学生の入院費の自己負担金を1日500円」に助成内容を拡大 ●放課後児童クラブの拡大 ●子育てコンシェルジュの配置（新規） 	×	子育て応援課 36-7159

				<p>●育児サポーターの派遣（新規）</p> <p>なお、最近の子育て世帯への支援策としては、こども医療費助成について、平成30年4月から小中学生の入院費を無料としており、10月からは高校生相当年齢まで拡大し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図っていく予定であります。</p> <p>このようなことから、現在「出産祝い金」の再開は予定しておりませんが、何とぞ御理解をいただきますようお願いいたします。</p>		
5	手紙	職員の服装について	<p>市民課にて手続き中、待っている間、職員の方の様子を眺めていて思ったことを一筆。</p> <p>帯シャツを着用されての女子職員の仕事ぶりは、当初は新鮮で「オッ」という驚きがあり、好感をもってながめておりました。</p> <p>今日、待っている間（結構待っている時間がある!?)に眺めていて、当初の新鮮さが少ないと感じました。加えて、職員の方だと、一目でわかる服装ではない、また、仕事をしている服装に見えない、と、負の感じが大きくなっているのに気づきました。</p> <p>男女共同参画の先進市として、女性職員の服装はどうあるのがよいか、ということも協議されるのも良いかなと思います。</p> <p>女性市長率いる男女共同参画の街として、女性職員の方々には、今後益々ががんばっていただきたいと期待するところです。</p> <p>素敵にハツラツとお仕事される姿は市民に元気を与えたいと思います。（男性職員もしかりですが）</p> <p>まずは形から、服装は大事ではないかな、という一市民の感想と思いでした。</p>	<p>職員の職務中の服装につきましては、日頃から職員に対し、「市の職員としてふさわしいもの」、「市民や市役所への来庁者等に失礼のないもの」として、また、「時季に相応しいもの」として自覚するよう指導しております。</p> <p>今回、「帯シャツ」着用についての御指摘をいただきましたが、現在、クールビズへの取り組み期間中（5月から9月まで）であり、その一環である服装の軽装として「帯シャツ」着用も認めています。</p> <p>ところで、先日、市の職員の対応について、ある市民の方から「少々難しい案件を窓口の若い女性に相談したところ、速やかに上司の女性に報告してもらい、その上司共々熱心な対応をいただきました。職員への対応の早さと親切な対応がとても素晴らしく、大変感激しました」とのお話を直接承ったところです。</p> <p>私は、職員に対して「市役所は、究極の“サービス業”」であると常に話しています。そのため、服装や接遇などの職員の第一印象については、市民の皆様に好感をもっていただく必要があると考えています。〇〇様からの御指摘である「まずは形から」は、まさにそのとおりです。</p> <p>今後とも、職員の礼を尽くした接遇は当然ながら、活気ある職場作りに努めてまいります。</p>	○	人事課 36-7136